住宅用分電盤　施工説明書

この説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

●有資格者以外の方の電気工事は、法律で禁止されていますので絶対行わないでください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

●相線式（1φ2W, 1φ3W）・回路電圧に合わせて選んでください。
感電事故の防止ができません。

●ねじ締付け・電線選定は説明書にしたがってください。
火災になる恐れがあります。

⚠ 注意

●主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。
●単3中性線欠相保護付漏電遮断器の過電圧検出リード線は、必ず中性バーに接続してください。
異常電圧が発生し電気器具を損傷する恐れがあります。

施工上のご注意

■施工に関するご注意

●住宅用分電盤は相線式（1φ2W, 1φ3W）・回路電圧に合わせて選んでください。
回路方式　・単相2線式（1φ2W）　100V
　　　　　・単相3線式（1φ3W）　100V／200V
●主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。
相を間違うと異常電圧が発生します。
●盤定格電流を越える主幹ブレーカは取付けないでください。
●導電部の接続ねじは、右表の適正締付けトルク範囲内で確実に締付けてください。
●導電部の接続ねじは、輸送中ゆるむ恐れがあるため増締めを行ってください。
●電線サイズは最大想定負荷電流に適合したものを使用してください。
主幹ブレーカ、分岐ブレーカに接続する電線サイズは右表より選んでください。
●分岐ブレーカには単線2本を接続しないでください。
●圧着端子・圧着工具はＪＩＳマーク品を使用してください。
電線に適合した圧着端子を使用してください。
●主幹ブレーカ2次側端子からの臨時配線、及びフリースペースからの仮配線は行わないでください。
●単3中性線欠相保護付漏電遮断器の過電圧検出リード線は、必ず中性バーに接続してください。接続しないと、欠相した場合に、電気器具を保護できません。

導電部の接続ねじ適正締付けトルク

ねじの呼び径	締付けトルクN･m
M4	1.2～1.6
M5	1.6～2.0
M6	3.0～4.0
M8	5.5～7.0

備考：機器端子M5圧着方式の場合は2.0～2.5N･m

主幹ブレーカ･分岐ブレーカ適合電線サイズ

主幹･分岐ブレーカの定格電流	電源サイズ
20A	φ1.6, φ2.0
30A	φ2.6, 5.5～8.0mm²
40A	8.0～14.0mm²
50A･60A	14.0～22.0mm²
75A	22.0～38.0mm²
100A	38.0mm²

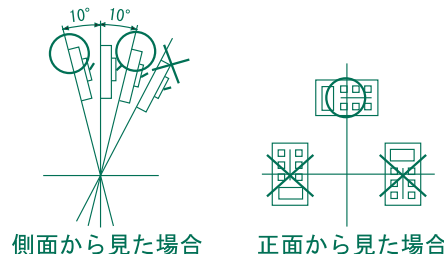
■設置に関するご注意

●住宅用分電盤は、容易に操作・点検のできる場所に取付けてください。
戸棚・便所・浴室などの内部には取付けないでください。
●高温・多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃など異常な環境での使用は避けてください。機能を損ないます。
●屋内で使用してください。
屋外や雨のかかる場所には使用できません。
●住宅用分電盤を取付ける壁面は、平らな面を選んでください。
凹凸のある場所へ無理に取付けないでください。
●住宅用分電盤は、右記図中に示す範囲内で使用してください。
●住宅用分電盤の前面には、障害になるようなものを置かないでください。

側面から見た場合

正面から見た場合

■使用上のご注意

●分岐回路を200Vで使用するときは、必ず2P2Eの分岐ブレーカを使用してください。
分岐回路を200Vに切替える場合の手順は、商品に貼付け又は添付している説明書通りに行ってください。
また、200Vに切替えた場合は、必ず200Vの表示をしてください。
●線間の絶縁抵抗測定は漏電遮断器が故障します。
●不要な動作を防ぐため、商品に表示してある主幹ブレーカ定格電流の80%以内でのご使用をお奨めします。

プチパネル（ＨＭ形ホーム分電盤）施工説明書

このたびは、弊社製品をご採用くださいまして誠にありがとうございます。施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。又、施工後は施主様に商品説明を行ってください。
尚、保守・点検の際も活用しますので、施工説明書・取扱説明書は所定欄に施工業者名を記入の上、まとめて施主様にお渡しください。

■工事に際してのご注意

●取付けについて

本体の取付けは平らな面に取付けてください。凹凸のある場所へ無理に取付けますと本体がひずみ、正常な取付け状態・機能が維持できないことがあります。また、適切なねじ締付け力で取付けてください。ねじの締付け過ぎによって本体がひずむことがあります。

本体の取付け・配線時、内部に切粉やゴミが入らないよう養生などの処理をしてください。切粉やゴミがかかると故障の原因になります。

キャビネット底面の配線孔に合わせて必要な穴を開けてください。

●ドアの取外し

ドアに付いているピンストッパを取外し、蝶番ピンを抜いてください。取外しの際、ドアが落下する恐れがあるためドアを保持しながら蝶番ピンを抜いてください。

●前面枠の取外し

四隅の前面枠取付ねじを取外してください。取外しの際、前面枠が落下する恐れがあるため前面枠を保持しながら前面枠取付ねじを抜いてください。

●中ぶたの取外し

四隅にあるナイラッチを手前に音がするまで引き、ナイラッチを持って取外してください。

●ケーブルの引込みについて

分電盤への引込み主幹ケーブルが太い場合、本体・内部機器に干渉して本体が変形する恐れがありますので注意してください。右図のように分電盤の外でケーブルの被覆を剥いて入線するなどして分電盤内の機器への影響を少なくしてください。また、ノックアウトを使用した場合は付属のブッシングを使用し、ケーブルが損傷しないようにしてください。

●送り端子への電線接続について

送り端子（Ｍ６）への電線接続は圧着端子を使用してください。
端子ねじは標準締付けトルクで確実に接続してください。
標準締付けトルク　３．０～４．０　Ｎ・ｍ
接続可能電線サイズは１４mm^2 までです。

●付属機器スペース付

付属機器スペースには下記の機器を取付ける事が出来ます。

- 別系統の引込み開閉器
- 主幹ブレーカの定格電流以下で母線に介在する機器
- 分岐ブレーカの負荷側および母線に直接接続する機器

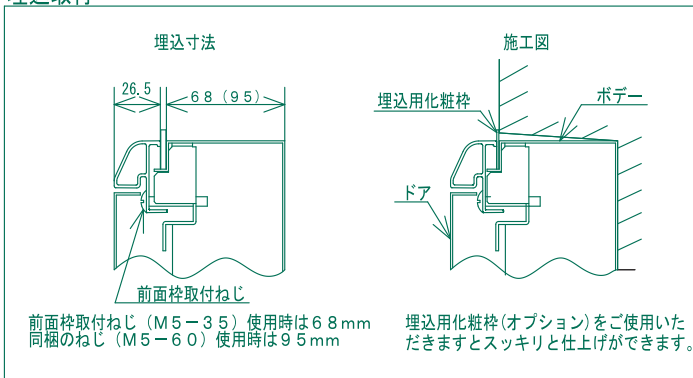
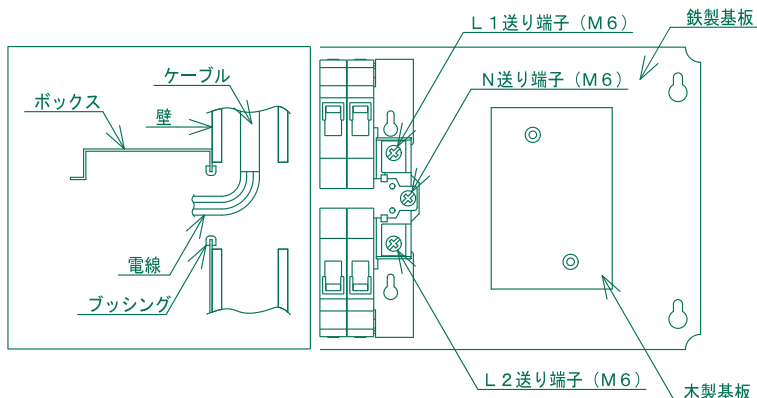
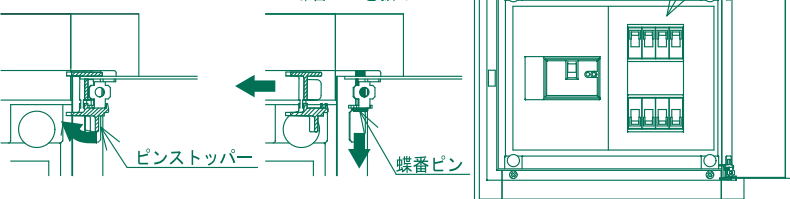
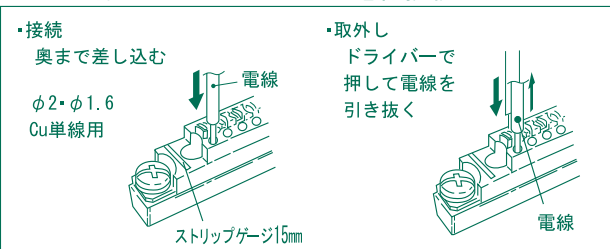
（木製基板を外すと鉄製基板に協約型ブレーカが取付けられます。）

埋込取付

埋込寸法　26.5　６８（９５）　前面枠取付ねじ

施工図　埋込用化粧枠　ボデー　ドア

前面枠取付ねじ（Ｍ５－３５）使用時は６８mm
同梱のねじ（Ｍ５－６０）使用時は９５mm

埋込用化粧枠（オプション）をご使用いただきますとスッキリと仕上げができます。

ドアの取外し

アース端子（オプション）への電線接続方法

施工業者	
ＴＥＬ	施工年月日　　年　　月　　日

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がありましたら弊社の技術相談室にお問い合わせください。

日東工業株式会社
技術相談室／愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地
ＴＥＬ．０５６１（６４）０１５２

C903385